



シントーハヤブサルーフSIは
作業性・耐久性に優れ、下塗の変更だけで
金属屋根～窯業屋根への対応可能な万能屋根用塗料です

シントーハヤブサルーフSI

屋根用2液弱溶剤形低汚染シリコン樹脂塗料

特長

- ・抜群の作業性
- ・シリコンの特長を活かした高耐候で汚れにくい塗膜
- ・積雪、滑雪への耐久性に優れる
- ・防藻、防カビ性を有する
- ・金属屋根、窯業屋根へ下塗の変更だけで対応可能
- ・15色の豊富な色彩
- ・弱溶剤(ターペン)可溶

用途

- ・戸建て住宅、倉庫、体育館、工場等の屋根
- ・金属屋根、トタン屋根

商品構成

商品名	容量			混合比 主剤:硬化剤	色相
	セット	主剤	硬化剤		
シントーハヤブサルーフSI	15kg	14kg	1kg	93:7	標準色15色
標準色	サニーレッド・ブラウン・マルーン・チョコブラウン・ノール・サンドベージュ・モスグリーン・オリーブグリーン・オーシャンブルー・ライトブルー・ナスコン・ニューグレー・チャコールグレー・ダークグレー・ブラック				

適用下塗

- 金属屋根、トタン屋根等：シントーハヤブサエポプライマー等
- 新生瓦、コロニアル、セメント瓦：浸透性マイルドエポシーラー等

標準塗装仕様

○金属屋根、トタン屋根

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	①さびの発生箇所はサンダー、ワイヤブラシ等で完全に除去。 ②脆弱な旧塗膜を入念に取り除き、活膜は全面目粗しを行う。			③ごみ、ほこり、粉等は高圧水洗にて除去、十分乾燥させる。 ④油分が付着している場合は脱脂処理を行う。		
下塗り	シントーハヤブサエポプライマー (塗料用シンナーA)	5~10	0.15~0.20	1	1日~7日	はけ ローラー
上塗り	シントーハヤブサルーフSI (塗料用シンナーA)	10~20	0.12~0.15	2	5時間~7日	はけ ローラー

*素地の状態によって、使用量は変動することがあります。

○新生瓦、コロニアル、セメント瓦

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
素地調整	①ごみ、ほこり、汚れ、かび、藻類等の付着物は除去。 (10MPa程度の高圧水洗推奨。高圧水洗ができない場合は、ホースで水を流しながら金属ワイヤブラシ等を用いて清掃する。)			②旧塗膜がある場合、脆弱な塗膜、露出している着色セメント層を入念に取り除く。 ③水洗後は十分に乾燥させる。 ④油分が付着している場合は脱脂処理を行う。		
下塗り	浸透性マイルドエポシーラー	無希釈	0.10~0.15	1	16時間以上 7日以内	はけ ローラー
上塗り	シントーハヤブサルーフSI (塗料用シンナーA)	10~20	0.12~0.15	2	5時間~7日	はけ ローラー

*素地の状態によって、使用量は変動することがあります。

ご使用上の注意事項

■施工に関する注意事項

1. 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。
3. 被塗面に結露がある場合や、塗装後短時間で降雪、降雨が予測される場合の塗装は避けてください。
4. 結露のある季節の作業は、艶引けなどの不具合を発生しやすいため午前10時頃から、午後3時頃までの間に行ってください。
5. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合、塗装を避けてください。
6. 強風下、炎天下での塗装を避けてください。
7. 絶えず結露が発生するような場所での塗装は避けてください。
8. 瓦(粘土質系屋根材)のうち、いぶし瓦(日本瓦)や釉薬瓦への塗装は避けてください。無釉薬瓦へ塗装する場合は事前に弊社へご相談ください。
9. 焼付ふっ素塗膜鋼板屋根材や、塩ビゾル鋼板屋根材への塗装は避けてください。
10. 新しい金属光沢のあるトタン板への塗装は、6か月以上暴露して金属光沢が減少してから塗装するか、表面を脱脂して「ガルバリック#300」を下塗りに用いてから塗装してください。
11. スレート系屋根材のうち、天然スレート瓦への塗装は避けてください。
12. セメント系屋根材のうち、乾式洋瓦(モニエル瓦等)への塗装は避けてください。
13. シングル材(アスファルトシングル)への塗装は、シントーアスファルトシングル工法(シントー水性ASルーフ)で塗装してください。
14. 高所作業や水洗後など足場は滑りやすいため、安全には十分注意してください。
15. 旧塗膜がある場合は、ペーパー等で目粗ししてください。
16. 旧塗膜の種類や劣化状態によっては溶剤などの影響により旧塗膜をおかし、ちぢみなどの異常が発生することがありますので、試し塗りなどをご確認の上、塗装を行ってください。
17. 屋根材のひび割れなどは適切な補修材を用いて補修し、著しい欠損がある場合は、同一の屋根材で張替えてから塗装を行ってください。
18. 屋根材の張り合わせ部に適度な隙間(雨水の逃げ道)があることを確認し、屋根材同士が密着している場合は、皮すきやスクレーパー等で密着部分を切り離し、隙間を作ってから塗装を行ってください。
19. 水洗後は、1日以上乾燥させてから塗装を行ってください。
20. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
21. 弱溶剤形の塗料ですので、換気口、空気取入れ口などから揮発した溶剤が室内に入り込まないように適切な処置をしてください。
22. 塗装中、養生間、塗料取り扱い時は、溶剤や樹脂の臭気などが近隣に影響を与える場合があります。あらかじめ施工主様・近隣住民への説明を行い、了承を得てください。

■塗料取り扱いに関する注意事項

1. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
2. 火気のあるところでは取り扱わないでください。
3. 容器のフタを開ける際は、缶の内圧が上がっている場合があります。開栓時は十分気を付けてください。
4. 塗料開栓は原則として使用する直前に行い、開栓したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
5. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い、塗料缶の内容物を均一な状態にしてください。
6. 主剤・硬化剤は、はかりを用いて計量し、必ず所定の比率で混合して、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。正しい比率でない場合、硬化不良などの不具合の原因となります。
7. ざげ缶などに小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるよう攪拌してから小分けを行い、必ずはかりを用いて計量し、正しい比率で混合してください。また、使用するざげ缶はきれいなものを使ってください。
8. 硬化剤は、湿気による影響を受けやすいので、分割して使用した際に残った硬化剤は、水分の影響を受けないように密閉した状態にして、冷暗所で保管してください。

9. 混合後は直ちに塗装してください。混合後、使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性があるので、規定時間内に使用してください。
10. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
11. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
12. 開栓後や作業中断時など、塗料が入った容器を放置していると塗料が皮張りする場合がありますので、常にフタをするよう心がけてください。
13. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
14. 塗装器具の洗浄には塗料用シンナーAまたはラッカーシンナーをご使用ください。
15. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■塗装に関する注意事項

1. 希釈剤は弊社指定の希釈剤を使用し、希釈量は、規定量内でご使用ください。
2. 被塗面の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより使用量は増減することがあります。
3. 波板トタンの山の部分の塗膜が薄くなりがちです。この部分を先行塗りしてから全面塗装してください。
4. 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部には擦り付けるように増し塗りを行ってください。
5. バッキンやゴム、プラスチックなどの可塑性剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
6. 塗装直後塗面は足場が滑りやすくなり、踏み跡が残るため踏まないように、安全には十分注意してください。
7. 1回目塗装部と2回目塗装部の境が目視ではわかりにくくなる場合があるため、塗りむら塗り忘れがないように注意してください。
8. 塗装により屋根材の張り合わせ部の隙間が埋まっていないか確認し、密着している箇所は皮すきやスクレーパー等で縁切りを行ってください。

■緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

■廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点につきましては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315

四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108

東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318

九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268

静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。